

(Sawada, 1992) やミミズハゼの一種がみられた。

静岡県においては、ハネカクシ談話会メンバーによる 2016 年度の現地合同調査会で海岸性の甲虫類を調査していた折に、小さな礫を多数含む砂浜海岸の汀線付近で浜に点々と落ちていた半分埋まった小石の下よりクロイソハネカクシ *Halorhadinus aequalis* Sawada, 1971 とともに採集された。同環境で確認されたクロイソハネカクシについては既報済みである (亀澤・野村, 2017)。

末筆ながら、本種の標本写真を撮影して下さった小野広樹氏 (相模原市)、本種の記録について教えて下さった藤本博文氏 (高松市)、静岡市の海岸部での調査にお付き合い下さった野村周平博士 (国立科学博物館)、調査会全般でお世話になった岸本年郎博士 (ふじのくに地球環境史ミュージアム) ならびに島田孝氏 (静岡市) の両幹事、当日参加のハネカクシ談話会メンバーに心よりお礼申し上げる。

引用文献

- 亀澤 洋・野村周平, 2017. 静岡県からのクロイソハネカクシの採集記録. ハネカクシ談話会ニュース, (46): 4.
齋藤 理, 2019. 本州におけるコケシトガリハネカクシの記録. さやばねニューシリーズ, (34): 58.
Shibata, Y. & H. Fujimoto, 2017. A new intertidal species of the genus *Medon* (Coleoptera, Staphylinidae, Paederinae) from Kagawa, Japan. Elytra, Tokyo, New Series, 7 (1): 55–60.

(亀澤 洋 350-0825 川越市月吉町 32-17)

【短報】長野県におけるアサヒナコマルガムシの記録

アサヒナコマルガムシ *Anacaena asahinai* は、体長 2.1–2.5 mm のガムシ科の一種である (Satô, 1982; 佐藤・吉富, 2018)。基準産地は群馬県尾瀬ヶ原湿原であり、これまで北海道および中部以北の本州各地 (岩手県、宮城県、群馬県、岐阜県) における高層湿原から記録されている (Satô, 1982; 高橋, 1995; 長谷川, 1998; 茶珍, 2015; 佐藤・吉富, 2018)。筆者らは、未記録の長野県において本種を



図 1. 長野県菅平高原産アサヒナコマルガムシ。

採集したため、ここに記録する (図 1)。

1 ex. (+ 多数目撃), 長野県上田市菅平高原, 4. X. 2019, 山本鷹之の採集, 渡辺黎也保管。

4 exs., 長野県上高井郡高山村高井, 29. IX. 2019, 大山健太採

集, 保管。

菅平高原の産地では、森林内を流れる小川の岸際に堆積した湿った落葉上において複数個体が確認された。高山村の産地においては、ため池の岸際に堆積した落葉をかきまぜたところ、複数個体が水面に浮いてきた。

引用文献

- 茶珍 護, 2015. 群馬県産流水性甲虫類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 231–249.
長谷川道明, 1988. アサヒナコマルガムシを岐阜県天生湿原で採集. 甲虫ニュース, (83, 84): 8.
Satô, M., 1982. The coleoptera of the Ozegahara moor. Pp. 379–408. Ozegahara: Scientific Researches of the Highmoor in Central Japan 1982, Japan Society for the Promotion of Science, 456 pp.
佐藤正孝・吉富博之, 2018. コウチュウ目 (鞘翅目) Coleoptera. pp. 707–790. 川合禎次・谷田一三編. 日本産水生昆虫科・属・種への検索 (第二版). 東海大学出版部. 1730 pp.
高橋泰美, 1995. 岩手県ワシズノ沢の湿原で採集されたアサヒナコマルガムシ. 岩手蟲乃會會報, (22): 15.

(渡辺黎也 226-0019 横浜市緑区中山 1-11-10

藤山荘 205 E-mail: biolfe14.cb@gmail.com)

(山本鷹之 791-8013 松山市山越 1-2-5

リューレント山越 403)

(大山健太 388-8012 長野市篠ノ井二ツ柳 2187-5

フォーブル篠ノ井 201 号)

【短報】久米島におけるシバオサゾウムシの記録

シバオサゾウムシ *Sphenophorus venatus vestitus* Chittenden, 1904 は北米原産の外来種で、北海道を除く日本各地で発見されている。有本 (2018) によれば、南西諸島では種子島、奄美大島、沖縄島、北大東島、宮古島、西表島で記録されている。筆者は、未記録であった久米島で本種を採集しているので報告する。

1 ex., 沖縄県久米島町大原 (シンリ浜海浜公園), 22. VIII. 2019; 1 ex., 同所, 23. VIII. 2019, いずれも筆者採集・保管。

海岸近くの整備された芝地で、地表にいた個体を得た。

引用文献

- 有本晃一, 2018. 宮古島におけるシバオサゾウムシの記録. さやばねニューシリーズ, (32): 34.

(中村 涼 286-0035 成田市囲護台 3-5-5)